

## こんなときは

新潟日報紙「健康」欄に読者の質問に答える形で連載

### Q：小5で生理不順、中3でなし

小学校5年の娘は、昨秋初潮があり、2～3日間少量の出血がありました。しかし、それ以来、月経らしいものはありません。偏食か性ホルモンの異常でしょうか。

(新潟市・主婦)

中学3年生の娘にまだ生理がありません。2年前に貧血気味だということでしたが現在治癒しました。生理と関係あるのか専門医に診察してもらう必要があるでしょうか。

(刈羽西山町・主婦)

### A：個人差あり専門医に相談を

初潮は身体、中枢神経、内分泌系がある程度の成熟度に達してはじめて起こります。ですから、初潮の時期は個人的差が大きく、これに影響を与えるものには、身体発育、栄養状態、精神的影響、環境などのほかに、遺伝、人種といったものがあります。身体的発育との関係でみると、8歳くらいまでは身体の発育が主ですが、それ以後はしだいに女性化が進行し、初潮はこの急激な身体発育のピークの少し後、身長が145～148cmを過ぎる頃にみられることが多いのです。

年齢的には、戦後世界的に初潮年齢の若齢化がみられていますが、大部分が10歳(小学4、5年)から14歳(中学2、3年)の間に発来し、平均年齢は12歳です。初潮は、卵巣や子宮がある程度発育したのちに起こります。しかし、この時期は卵巣の成熟はなお未完成のものが大多数で、正常な排卵を伴わないものが多く、初潮後3年を経ても、正常なものは50%くらいに過ぎないといわれています。

お子さんの場合は、まだ小学5年生ですので、あまり心配なさらなくて、近医の産婦人科か小児科の先生に一度相談されるのがよろしいかと思います。

次に、17～18歳頃になって初潮をみる場合もあり、晩発月経とよんでいます。大部分の女性は14歳頃までに初潮発来がみられますので、8歳以前に初潮がみられたり、15歳になってなお初潮がみられない場合は、専門医に相談されることが望ましいと思います。